



大飯原発再稼働、首相が判断だって・・・

大飯原発は・・・

内閣原子力安全委員会（斑目委員長）はストレステストを原子力安全保安院が「妥当」とした審査書を了承。

ストレステストとは

ストレステストとは地震や津波の規模を段階的に大きくしていった時の影響を評価するもの。例えば、どんな地震で、配管が壊れるかを計算するもの。

でも、問題は計算に使うモデル。福島原発では何がどう壊れたのか、検証もできていない。ストレステスト自体見直す必要がある。

首相の責任で判断？

野田首相は、立地自治体の同意を前提に「私の責任で判断する」と表明。でも、本当に

地震が来て、壊れたらどう責任をとるのか？

福島原発では

福島原発事故では周辺住民は家財を失い、仕事を失ったが、ろくな補償もない。万一の事故のツケは住民に回されるのだ。

万一洩れたセシウムは

セシウム137は一桁減るのに半減期の三・三倍、百年かかる。

そして、原発の使用済み燃料にあるプルトニウム239は一桁減るのに八万年かかる。地震国日本ではそれだけ長期に安定した地盤は存在しないし、そもそも何万年も管理できない。原発はもはや使用してはならないものなのだ。

皆さんは、どう思われますか？

先週はお休みしました

集会所になっていた

（呉市吉浦）

四才の時、吉浦保育園に入った。当時は五才の女の子を頭に、四、五人の子供達だけで七百mの道を通園。六十年経っていましたが、その道を思い出し、辿ることが出来た。

絵の小川に架かった石

橋を渡ると保育園の筈。しかし、そこは「集会所」となっていた。通りかかった女性に聞くと「ここは昔保育園だった」と云うから、私の記憶通りだった。

同い年の友達と二人だ

けで保育園からの帰り、道の脇の石に飛び乗った時、足が滑って、路地裏のどぶ川に落ちた。目の前は真っ暗。でも、すぐ、知らないおばさんが私の手を引っ張り上げてくれた。子供達だけの通園。

でも、車は殆どなかったし、街には大人の目が沢山あった。

道ばたでホースで洗ってもらっていたら「銭湯もうやってるよ」と云う人がいた。母に銭湯に連れて行って貰った。初めての銭湯だった。

